

【NEWS RELEASE】

2025年4月1日

各位

株式会社三井住友銀行

大阪・うめきたエリアにおけるスタートアップ支援・共創拠点開設について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、大阪・うめきたエリアにおける複合型都市開発「グラングリーン大阪」の中核機能施設「JAM BASE」（大阪府大阪市北区大深町6番38号）に、スタートアップ支援・共創拠点を開設いたします。なお、開設は2025年夏頃を予定しております。

1. 背景

日本のスタートアップマーケットは、リスクマネー増加を背景に、大きな発展を遂げています。しかしながら、スタートアップの起業、ユニコーン企業の創出等は海外と比較して低水準で推移しております。これらの課題を解決するには、産・官・学・金のスタートアップ支援者による一層の成長支援の枠組強化が鍵となります。その課題認識のもと、三井住友銀行は、国立研究開発法人科学技術振興機構（通称「JST」）が主導するスタートアップ・エコシステム共創プログラムの「全国ネットワーク構築支援」に共同実施機関として参画し、全国の大学等発スタートアップの継続的な創出に尽力しています。これに加え関西では、今月開幕する大阪・関西万博を契機にスタートアップ等新たな目線を持つ主体により、様々な社会課題の解決の萌芽をレガシーとすべく、その機運が高まっています。

2. 拠点概要

住所	大阪府大阪市北区大深町6番38号
運営事業者	株式会社三井住友銀行
開設時期	2025年夏頃
面積	82坪
施設構成	コワーキングオフィス、会議室、イベントスペース



3. 目的・特長

SMBC グループでは、中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において「日本の再成長」を重点課題の一つとして掲げ、国内のスタートアップ・エコシステムの整備や、イノベーション創出・新たな産業の育成に尽力してきました。

当拠点では、主に①スタートアップの創業支援、②スタートアップと大企業の共創に取り組んでまいります。

スタートアップの創業支援については、起業前の研究者が持つ技術シーズの事業化を支援してまいります。加えて、リードインベスターの少ない関西にて、資金調達がより活性化するよう全国の投資家とのマッチングの場を提供してまいります。

スタートアップと大企業の共創については、大企業の経営層とスタートアップを直接引き合わせることでスピード感のある共創を目指してまいります。

これら 2 つの柱を軸とした活動を通じて、関西スタートアップ・エコシステムの発展に貢献し、関西から日本の再成長を目指してまいります。

以 上